

否決

臨時議会で副市長の同意人事案が不同意に！

11/10 賛成 9 反対 16 欠席 1

日本共産党議員団は提案に反対

Q 市長提案の副市長案はどんな方ですか？

A 中嶋前市長のもとで副市長を平成 24 年 4 月から今年 3 月まで 4 年間つとめ、任期満了で退任した正木仙治郎氏です。

Q 市長の提案理由は何ですか？

A 市長の提案理由は、「市政は転換期を迎えている。切れ目のない市政運営、継続性が大事。正木氏は市長選の時にわたし（岩永市長）とともに 50 回のタウンミーティングに参加し市民目線で政策づくりに参加した。市政に熟知し、切れ目のない市政運営、継続性からして、不可欠の人材、最適任者として提案した」とのことでした。

Q 提案に対する質疑の内容は？共産党が同意しなかった理由は何ですか？

A 共産党議員団 3 人が質疑しました。主な内容は、副市長の職務とは、市長を補佐し、市行政の事務を監督する特別職の地方公務員。市長が欠けたときにはその任務を代行すること。そのうえで、①中嶋市政を支え、任期満了で退任した方が、選挙では対抗馬の岩永陣営の選挙スタッフとなり、副市長として自らかかわった中嶋市政の批判を行っていた。その方の行政手腕を今度は岩永市政に求めるということに対する市長の考えはどうか。②副市長時に知りえた情報の「守秘義務」違反はないのか、です。

これらの質問に、市長答弁は「問題ない」とのことでした。

日本共産党議員団が同意しなかったのは、質疑で問題点を指摘したように、適任でないからです。

賛成討論を小河議員がしましたが、副市長の必要性を述べるだけで、提案の主旨である適任かどうかの言及はありませんでした。

Q 不同意の採決結果は何を意味しているのですか？

A 議会の同意が必要な人事で、提案の方が適任でないという議会の判断です。このことは二元代表制の元で「議会のチェック機能の役割」を果たし、市民から選ばれた議員として、市長に反対することも当然ありうることです。

Q 選挙で選ばれた市長の提案は「民意」であり、反対することは「民意無視」という一部の声がありますが。

A 市長選挙に勝ったのだからその「民意」に従えというのは、旧大阪維新の会の橋下元大阪市長の主張と同じです。

すべてを市長に任されたわけではなく、行政のチェック機能として議会があります。なんでも賛成では、議会や議員は必要ありません。同時に、多様な民意を反映するために議員の議会活動があります。

今後も、市長提案に対し、「市民を守る立場」からいいことには賛成、問題があれば反対、是々非々の立場を貫きます。

市民の願い実現せまり、市政をチェック

市長の所信表明に対する 12 月議会の代表質問は
11/24（木）10 時より。安井議員は 4 番目。

日本共産党甲賀市議団のホームページ
<http://city-koka.jcp-web.net/>

日本共産党

甲賀市議員団ニュース

2016 年 11 月 20 日 NO175



安井 直明
土山町前野 541
Tel 67-0147
Fax 67-1660



山岡 光広
甲南町森尻 16
Tel 86-2985
Fax 86-0415



小西喜代次
信楽町勅旨 456
Tel 83-0765
Fax 83-0765